


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年2月16日

山北町議会議長 池谷 荘次郎 殿

受付番号	第4号	質問議員	2番	原 憲 司	
件名	地域の活性化による住みよいまちづくりを				
要 旨					
<p>当町の平成27年1月1日現在の人口と世帯数は、人口が11,405人で、世帯数が4,298世帯であり、地区別人口は、山北地区3,527人、向原地区2,884人、岸地区2,775人、平山地区449人、共和地区215人、清水地区1,013人、三保地区542人になっており、3年前の平成24年1月1日現在の人口11,853人に対して、448人の減少になっています。</p> <p>山北町第5次総合計画では、「みんなでつくる魅力あふれる元気なまち やまきた」を将来像とし、平成35年の目標人口を11,000人に設定していますが、現状の減少人口を鑑みた時、目標人口の達成は、非常に厳しい状況にあると思われます。また、先日の足柄上郡議長会議員研修会の講演で牧瀬先生は、山北町の平成40年の人口推移を42.3%減の6,791人と予測されていました。</p> <p>こうした現状を鑑みた中で、山北町の将来が非常に不安に感じられますので、地域の活性化対策や定住対策などによる住みよいまちづくりについて伺います。</p> <p>1. 当町には、洒水の滝、河村城跡、大野山、丹沢湖、中川温泉、箒杉などの観光名所がありますので、いろいろな観光ピーアールを積極的に行い、知名度を向上させるとともに、地域ごとのブランドづくりに町民、観光団体、町職員が一体となって構成するブランドづくり実行委員会を立ち上げ、地域をピーアールし、地域の知名度を向上させ、地域の活性化を図ってはどうか。</p>					

2. 当町の農用地は、人口減少や後継者不足等により休耕地が年々増加しているので、清水神縄地区のひだまりの里のように品川区との農業体験交流の推進を図り、都市交流による地域の活性化を図ってはどうか。
3. 三保地域の自然豊かなミツマタの花や西丹沢山系の紅葉、ユースンまでの渓谷美を県内外に積極的にアピールし、併せて、武田信玄が浸かった中川温泉の源泉に浸かり、心と体をいやすことのできる地域として、三保地域を広く県内外に、インターネットや新聞等を通じて、今以上にアピールし、交流人口の増加を図り、三保地域の活性化を図ってはどうか。
4. 山北駅前通りの振興発展は、山北町全体の活性化にも繋がるので、「サンライズやまきた」の横に商業施設の整備を早急に推し進め、併せて、施設前の町道の一方通行を一部解除し、車等で商業施設が利用できるように駐車場の整備も行い、町民や洒水の滝、大野山などへのハイキング者が商業施設を自由に利用できるように整備し、山北駅周辺の活性化を図ってはどうか。
5. 丸山地区の三井造船株式会社の住宅造成地の分譲販売の促進を会社側に強く要請し、定住人口の増加を図るとともに、不動産業者や民間企業と粘り強く調整し、宅地分譲地の造成・販売を行い、定住人口の増加を図ってはどうか。
6. 当町では、若者の転出や少子高齢化などにより、人口の減少や空き家の増加が年々増えているので、山北町土地開発公社による割安で、信頼できる公的な事業として、町内の空き地や空き家を活用した土地・建物の分譲事業を行い、転入者の増加と転出者の食い止めに取り組み、地域の活性化や住みよいまちづくりの推進を図ってはどうか。